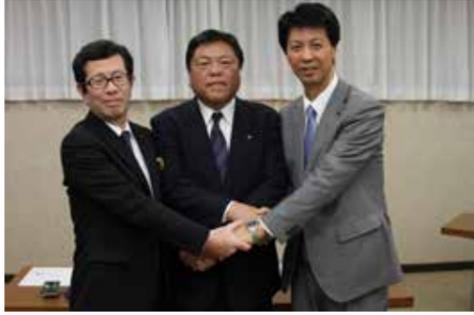




## 4/26 地震の廃材も利用し復興支援に ～木質バイオマス発電事業の協定調印式～

▶握手をする家入玉名地域振興局長、石崎社長、浅田市長（左から）



㈱有明第二発電所が、産業団地内に、市内では2基目となる木質バイオマス発電所を建設することとなり、県玉名地域振興局長立会いのもと、市と「木質バイオマス発電事業に関する協定」を締結しました。ことし6月に着工し、来年8月からの発電開始を予定しています。県産の間伐未利用材、製材端材を発電のための燃料に利用するほか、熊本地震で発生しがれきなどの処理も行うことで復興への支援をしていくことが期待されています。

## 4/29 万田坑をみんなで盛り上げよう ～万田坑市民まつり～

▶総踊りで炭坑節を踊る人たちの後のビンゴゲームも盛況でした。



万田坑市民まつりが実行委員会の主催により開催されました。当日は世界文化遺産である万田坑への入場が無料とあって、多数の来場者が入場。ステージでは、荒尾太鼓の演奏、みやじま幼稚園児の歌、フラダンス、健康ダンス、ストリートダンス、日舞などが披露され、原えいじさん・荒尾市盛り上げ隊炭坑ガールズが会場を沸かせると、最後は出演者と来場者全員で炭坑節を踊りました。また、特産品販売グルメコーナーにも多数の来場者が立ち寄っていました。

## 5/1 地域を見守る我がヒーロー ～消防団永年勤続功労章 受賞～

▶竹林さんは、浅田市長に笑顔で受賞の報告をしました。



竹林義美さん（井川口）へ消防庁長官から消防団永年勤続功労章が贈られました。消防団員として長年模範的に活動した人に贈られるものです。

竹林さんは、「自分たちの町は自分たちで守るの精神で29年間、家族の協力もあり頑張ってきました。熊本地震もあり、公助だけでは住民の安心安全は守ることができないこと、自助・共助がいかに重要なことかを再認識しました。団員が減少していることもあり、若い人たちにもっと興味を持ってもらいたいです」と話しました。

## 5/3 連休を鯉のぼりと盛り上げたモン! ～岩本橋鯉のぼりまつり～

▶くまモンが登場すると、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。



岩本橋河川敷で平井地区協議会は岩本橋鯉のぼりまつりを開催しました。荒尾太鼓の演奏と平井小新入生の開式の言葉で祭りが始まると、みのり保育園児、府本幼稚園児、くまモン、森山まさとしさん、バナナの叩き売りなどがステージを盛り上げ、親子連れをはじめとした多くの来場者で会場はにぎわいました。大牟田市から参加の由布さん一家は、「アットホームなお祭りですね。地元の子どもたちが祭りを盛り上げてくれて素敵な休日になりました」と祭りを楽しんでいました。

## 地域の活動 掲示板

### 鯉のぼり・矢旗の掲揚



平井校区元気づくり委員会

### 万田公園前花壇除草作業



井手川地区協議会

### 親睦運動会



有明地区協議会

### 健康ふれあい体育大会



清里地区協議会

### 自転車の安全な乗り方教室



万田地区協議会

### 桜山カラオケフェスタ



桜山校区元気づくり委員会

## 5/3 土に触れ 食べ物大切さを知る ～里山マルシェ～

▶実際に土に触れ、自分で収穫できることが里山マルシェの魅力です。



海行原ふるさと愛好会は海行原野菜畑で新玉ネギの直採りを楽しむ里山マルシェを開催しました。雑貨や加工品販売、ポニー乗馬体験などもあり、多くの家族連れなどでにぎわっていました。

参加した中島優弥君と朱莉ちゃんは、「玉ネギがたくさん取れて楽しかった。家でもトマトやインゲンを作ってるよ。次はトウモロコシもたくさん取れたらうれしいな」と満面の笑みを浮かべました。7月8日(土)にはトウモロコシの収穫体験を行います。詳細は23ページをご覧ください。

## 5/16～6/11 宮崎兄弟の生家がギャラリーに ～牡丹文芸・美術展～

▶「子どもたちの俳句からは感受性の豊かさを感じますね」と島村さん



宮崎兄弟の生家施設で育てている牡丹をテーマにした絵画・俳句・押花を展示する牡丹文芸・美術展を宮崎兄弟の生家で開催しています。

一般から応募を募り、41点の作品が寄せられました。生家の牡丹は郷土の偉人・宮崎滔天が中国から持ち帰ったのが始まりだといわれています。

島村美小夜さん(大島)と梶原順花さん(川登)は、「押花の立体感と美しさに感動です」と話しました。牡丹文芸・美術展は6月11日(日)まで開催中です。力作ぞろいの作品をお楽しみください。